手　形

約束手形

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　約束手形の内容を理解しよう！

②　発生と消滅の仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「受取手形」勘定（資産）

「支払手形」勘定（負債）

（1）手形とは？

手形（てがた）とは、一定の日に一定の金額を支払うために取り交わした証券（しょうけん）です。手形には、約束手形（やくそくてがた）と為替手形（かわせてがた）がありますが、日商簿記3級では**約束手形**を学習します。なお、手形に金額等を記入し、相手に渡すことを**手形の振り出し**といいます。

（2）約束手形とは？

約束手形とは、振出人（ふりだしにん）（支払人（しはらいにん））が名宛人（なあてにん）（約束手形の宛名の人で、受取人（うけとりにん））に対して支払期日（満期日（まんきび））に手形金額（てがたきんがく）（額面金額（がくめんきんがく））を支払うことを約束する証券です。

簡略化した約束手形の見本は次のとおりです。

約　束　手　形

B　社　殿

金額　￥1,000,000※

支払期日
2030年×月×日

上記金額をあなたへこの約束手形と引替えに**お支払いいたします**。

振出日2030年×月×日

振出人　A社

（3）会計処理

振出人は支払人なので、将来、金銭を支払う義務があるため「**支払手形**」勘定（負債）で処理し、名宛人は受取人なので、将来、金銭を受け取る権利があるため「**受取手形**」勘定（資産）で処理します。

① 振出人（A社）

例題　**B社から商品2,000円を仕入れ、代金は約束手形を振り出した。**

約束手形を振り出すと、支払期日に手形金額を支払う義務が生じますので「支払手形」勘定（負債）の増加として処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	**2,000**	**支払手形**	**2,000**

例題　**約束手形2,000円の支払期日が到来したため、代金を当座により支払った。**

支払期日に手形金額を支払うと支払手形という負債が減少しますので「支払手形」勘定（負債）の減少として処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
支払手形	**2,000**	**当座預金**	**2,000**

② 名宛人（B社）

例題　**A社へ商品2,000円を売り上げ、代金は約束手形を受け取った。**

約束手形を受け取ると、支払期日に手形金額を受け取る権利が生じますので「受取手形」勘定（資産）の増加として処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
受取手形	**2,000**	**売上**	**2,000**

例題　**約束手形2,000円の支払期日が到来し、代金を受け取り当座に預け入れた。**

支払期日に手形金額を受け取ると受取手形という資産が減少しますので「受取手形」勘定（資産）の減少として処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
当座預金	**2,000**	**受取手形**	**2,000**

電子記録債権・債務

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　電子記録債権の内容を理解しよう！

②　発生と消滅の仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「電子記録債権」勘定（資産）

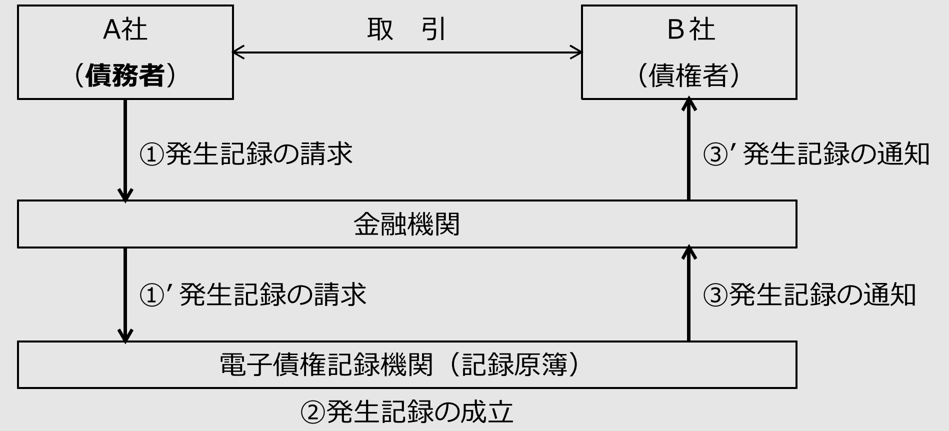
「電子記録債務」勘定（負債）

（１）電子記録債権とは？

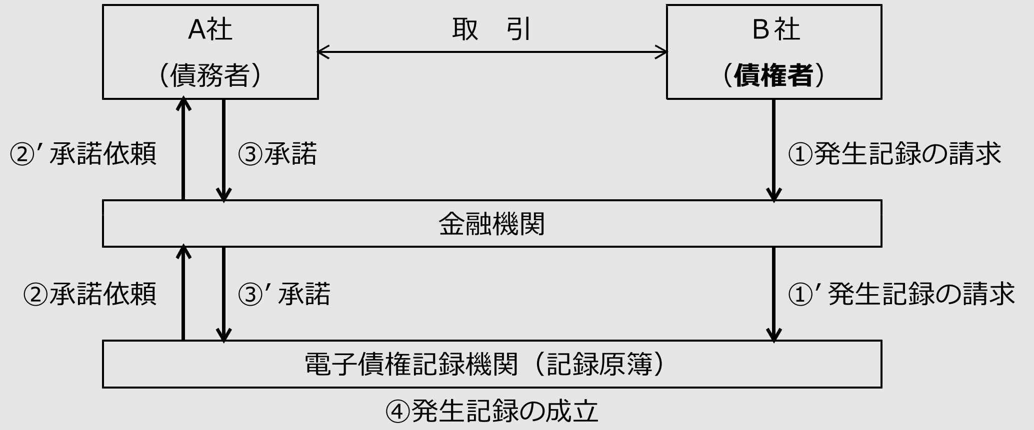
電子記録債権（でんしきろくさいけん）とは、その発生や譲渡について電子記録を要件とする金銭債権をいいます。ここでいう電子記録とは、電子債権記録機関が作成する記録原簿への記録事項を記録することをいいます。手形債権には、作成や保管にコストがかかり、また、分割することができず、紛失や盗難のリスクがありますが、電子記録債権はそれらの問題点を克服した新しい債権です。

（参考）電子記録債権には、債務者が発生記録の請求を行う「債務者請求方式」と、債権者が発生記録の請求を行い、債務者から承諾を得ることによって発生記録が成立する「債権者請求方式」があります。

＜債務者請求方式＞



＜債権者請求方式＞



（2）会計処理

電子記録債権は、会計処理上は手形債権と同様の処理を行いますが、「**電子記録債権**」勘定（資産）や「**電子記録債務**」勘定（負債）で処理します。

例題　**以下の取引について、A社及びB社の会計処理を答えなさい。**

①　A社はB社から商品10,000円を仕入れ、代金は掛けとした。

②　A社は買掛金10,000円について、発生記録の請求を行い、電子記録債務が生じた。

③　A社は支払期日が到来したので当座預金により支払い、B社は当座預金に振り込まれたことを確認した。

(1) A社

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	**仕入**	**10,000**	**買掛金**	**10,000**
②	**買掛金**	**10,000**	**電子記録債務**	**10,000**
③	**電子記録債務**	**10,000**	**当座預金**	**10,000**

(2) B社

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	**売掛金**	**10,000**	**売上**	**10,000**
②	**電子記録債権**	**10,000**	**売掛金**	**10,000**
③	**当座預金**	**10,000**	**電子記録債権**	**10,000**

手　形 問題

問題1　以下の取引に関して、仕訳を行いなさい。

① 商品30,000円を仕入れ、代金は約束手形を振り出して支払った。
② 商品を40,000円で売り上げ、代金は約束手形で受け取った。
③ 約束手形15,000円の満期日が到来し、手形金額を普通預金に預け入れた。
④ 振り出した約束手形30,000円の満期日が到来し、手形金額を当座預金により支払った。
⑤ 当社は北海社に対する売掛金10,000円について、発生記録の請求を行い、同社の承諾を得て電子記録債権が生じた。
⑥ 当社は青森社に対する買掛金11,000円について、発生記録の請求を行い、電子記録債務が生じた。
⑦ 仕入先から商品7,000円を仕入れ、代金のうち3,000円は約束手形を振り出し、残額は小切手を振り出して支払った。なお、当座預金残高は3,500円であったが、取引銀行と当座借越契約（借越限度額10,000円）を結んでいる。

手　形 答案用紙

問題1

	借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				
⑦				

手　形 解答解説

問題1　**解答**

	借方科目	金　額	貸方科目	金　額
①	仕　　入	30,000	支払手形	30,000
②	受取手形	40,000	売　　上	40,000
③	普通預金	15,000	受取手形	15,000
④	支払手形	30,000	当座預金	30,000
⑤	電子記録債権	10,000	売掛金	10,000
⑥	買掛金	11,000	電子記録債務	11,000
⑦	仕　　入	7,000	支払手形	3,000
			当座預金	4,000

問題1　**解説**

①　約束手形を振り出した場合、「支払手形」勘定（負債）の増加として処理します。

②　約束手形を受け取った場合、「受取手形」勘定（資産）の増加として処理します。

③　約束手形の代金を受け取った場合、「受取手形」勘定（資産）の減少として処理します。

④　振り出した約束手形の代金を支払った場合、「支払手形」勘定（負債）の減少として処理します。

⑤　「売掛金」勘定（資産）から「電子記録債権」勘定（資産）に振り替えます。

⑥　「買掛金」勘定（負債）から「電子記録債務」勘定（負債）に振り替えます。

⑦　約束手形を振り出した場合、「支払手形」勘定（負債）の増加として処理します。また、資産である当座預金を上回る金額の小切手を振り出した場合、当座借越が生じますが、期中は「当座預金」勘定（資産）で処理します。したがって、「当座預金」勘定（資産）の減少として処理します。